

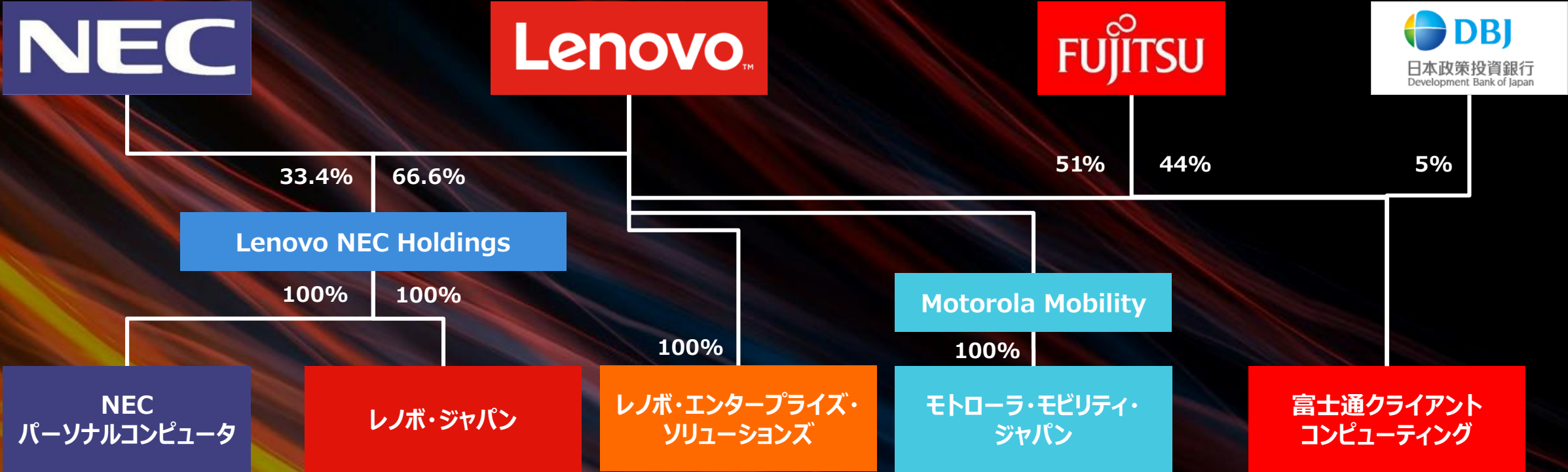
Smarter technology for all students

High School GIGA 高校生のタブレット端末整備

レノボ・ジャパン株式会社
教育ビジネス開発部 マネージャー
武者 超

Lenovo

Organization



社 長 デビット・ベネット
取締役2名日本電気
取締役3名レノボ

NECブランドPCの開発・生産会社
NEC個人向けの販売
※NEC企業向けPCはNEC本社経由で販売

社 長 デビット・ベネット
レノボWWの日本法人
レノボブランドPC製品の企画販売

社 長 ジョン・ロボトム
x86サーバ/ストレージ/ネットワーク/
サービス事業

社 長 ダニー・アダモポーロス
モトローラ端末事業

社 長 齋藤 邦彰
富士通ブランドPC 事業



Smarter technology for all students

「1人1台を達成する」一貫したコンセプトによるバリエーション

“誰一人取り残すことのない、個別最適化された学び”を実現するための  教育クラウド ×  低価格デバイス というコンセプト

2017

2018


2019

2020



Miix 320 



IdeaPad
D330 



N24



300e
Windows



300e
Chromebook 2nd Gen



300e
Chromebook



500e
Chromebook 2nd Gen



500e
Chromebook



300e
Windows 2nd Gen



10e Tablet
Chromebook

目的

「1人1台端末」の早期実現や、家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」におけるハード・ソフト・人材を一体とした整備を加速することで、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子どもたちの学びを保障できる環境を早急実現

児童生徒の端末整備支援

○ 「1人1台端末」の早期実現 1,951億円

令和5年度に達成するとされている端末整備の前倒しを支援、令和元年度補正措置済（小5,6、中1）に加え、残りの中2,3、小1~4すべてを措置

対象：国・公・私立の小・中・特支等
 国立：定額（上限4.5万円）、私立：1/2（上限4.5万円）

○ 障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備 11億円

視覚・聴覚・身体等に障害のある児童生徒が、端末の使用にあたって必要となる入出力支援装置の整備を支援

対象：国・公・私立の小・中・特支等
 国立、公立：定額、私立：1/2

学校ネットワーク環境の全校整備 71億円

整備が可能となる未光地域やWi-Fi整備を希望し、令和元年度補正に計上していなかった学校ネットワーク環境の整備を支援

対象：公立の小・中・特支、高等学校等
 国立：1/2

G I G Aスクールサポーターの配置 105億円

急速な学校ICT化を進める自治体等を支援するため、ICT関係企業OBなどICT技術者の配置経費を支援

対象：国・公・私立の小・中・高校・特支等
 国立：定額、公私立：1/2

緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備

○ 家庭学習のための通信機器整備支援 147億円

Wi-Fi環境が整っていない家庭に対する貸与等を目的として自治体が行う、LTE通信環境（モバイルルータ）の整備を支援

対象：国・公・私立の小・中・特支等、年収400万円未満（約147万台）
 国立：定額（上限1万円）、私立：1/2（上限1万円）

○ 学校からの遠隔学習機能の強化 6億円

臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うための学習機能強化（カメラやマイクなどの通信機器等の整備を支援）

対象：国・公・私立の小・中・高校・特支等
 公私立：1/2（上限3.5万円）、国立：定額（上限3.5万円）

○ 「学びの保障」オンライン学習システムの導入 1億円

学校や家庭において端末を用いて学習・アセスメントが可能なプラットフォームの導入に向けた調査研究

1人1台端末/ID フルクラウド構成 NWの一体整備

施策の想定スキーム図



※上記は公立及び私立のイメージ、国立は国が直接補助

Smarter technology for all students

学習体験の変革をテクノロジーによって支援するレノボからの3つのコミット



1人1台時代に向けて
必要十分な端末を低価格で提供



クラウドをフル活用し
教職員の負担を軽減するための提案



利活用率を向上させるための
教育コンテンツを含めた提案

利活用率を向上させる教育コンテンツを含めた提案

業界を牽引するパートナー各社と共に、子どもたちのICT利活用を強力に支援



GIGAスクールパック

タブレットとクラウドプラットフォームをセット
多様なコンテンツへのシングルサインオン



Sky安心GIGAタブレット

学校で強く支持される学習支援ツール
SKYMENUクラウド版をバンドル

Lenovo New Realities Japan Noi Tatsuzaki



渋谷教育学園幕張高等学校 1年生
国際ロボコンチーム Sakura Tempestaの設立と運営
世界最大のロボット競技会FIRST Robotics Competition(FRC)へ参加
2019年と2020年に、FRC最高賞のChairman`s Award受賞
COVID-19による緊急事態宣言下に Face Shied Japanを設立
3Dプリンターでフェイスシールドを制作し、1900個を寄付

すべての子どもにテクノロジーを与えることは 未来を選択する権利を与えることである。

A woman with blonde hair in a braid is seen from behind, holding a tablet. The tablet screen displays an Android home screen with various Google apps like Calendar, Mail, Docs, Photos, Maps, and Play Store. In the background, a classroom setting is visible with other students at desks.

Smarter technology for all students

Smarter Technology for all Student

Lenovoの考える高校ICTのポイント

Smarter
technology
for all

Lenovo

高校生1人1台を早急に整備し、学習活動の継続を担保

ICTを活用することで、「探求」の質を高める

CBTベースの大学入試共通テストを見据えた、PCスキルの育成

行政動向 令和2年度第3次補正予算(案)

GIGAスクール構想の拡充

令和2年度第3次補正予算額(案) 209億円

※「通信環境の円滑化」は学校施設環境改善交付金の内数



Society5.0時代を生きる子供たちに相応しい、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを

児童生徒の端末整備支援

○ 「1人1台端末」の実現

◆ 国公立の小・中・特支等義務教育段階の児童生徒が使用するPC端末整備

を支援 対象：国・公・私立の小・中・特支等
 国立、公立：定額(上限4.5万円) 令和元年度 1,022億円
 私立：1/2(上限4.5万円) 令和2年度1次 1,951億円

◆ 国公立の高等学校段階の低所得世帯等の生徒が使用するPC端末整備を支援

対象：国・公・私立の高等学校等
 国立、公立：定額(上限4.5万円) **令和2年度3次 161億円**
 私立：原則1/2 (上限4.5万円)

○ 障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備

視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒が、端末の使用にあたって必要となる

障害に対応した入出力支援装置の整備を支援

対象：国・公・私立の小・中・高・特支等
 国立、公立：定額 私立：1/2
 令和2年度1次 11億円
令和2年度3次 4億円

目指す
次世代
学校・
教育現

児童生徒

○ 「1人1台」
◆ 国公立
を支援

◆ 国公立

○ 障害の
視覚や聴
障害に対
対象：国
国立、公

学校ネット

○ 小・中

加えて電源キャビネット整備の支援
 令和元年度 1,296億円
 対象：国・公・私立の小・中・高・特支等 令和2年度1次 71億円
 公立、私立：1/2 国立：定額

学習系ネットワークにおける通信環境の円滑化

○ 各学校から回線を一旦集約してインターネット接続する方法をとっている自治体に対して、**学習系ネットワークを学校から直接インターネットへ接続する方式に改めるための整備を支援**
 対象：公立の小・中・高・特支等 公立：1/3 **学校施設環境改善交付金の内数**

○ 学校からの遠隔学習機能の強化

臨時休業等の緊急時に学校と児童生徒がやりとりを円滑に行うため、**学校側が使用するカメラやマイクなどの通信装置等の整備を支援** 令和2年度1次 6億円
 対象：国・公・私立の小・中・高・特支等
 公立、私立：1/2 (上限3.5万円) 国立：定額 (上限3.5万円)

○ オンライン学習システム (CBTシステム) の導入

学校や家庭において端末を用いて学習・アセスメントが可能な**オンライン学習システム (CBTシステム) の全国展開等**
 令和2年度1次 1億円
令和2年度3次 22億円

クラウド



の活用



する者の

105億円

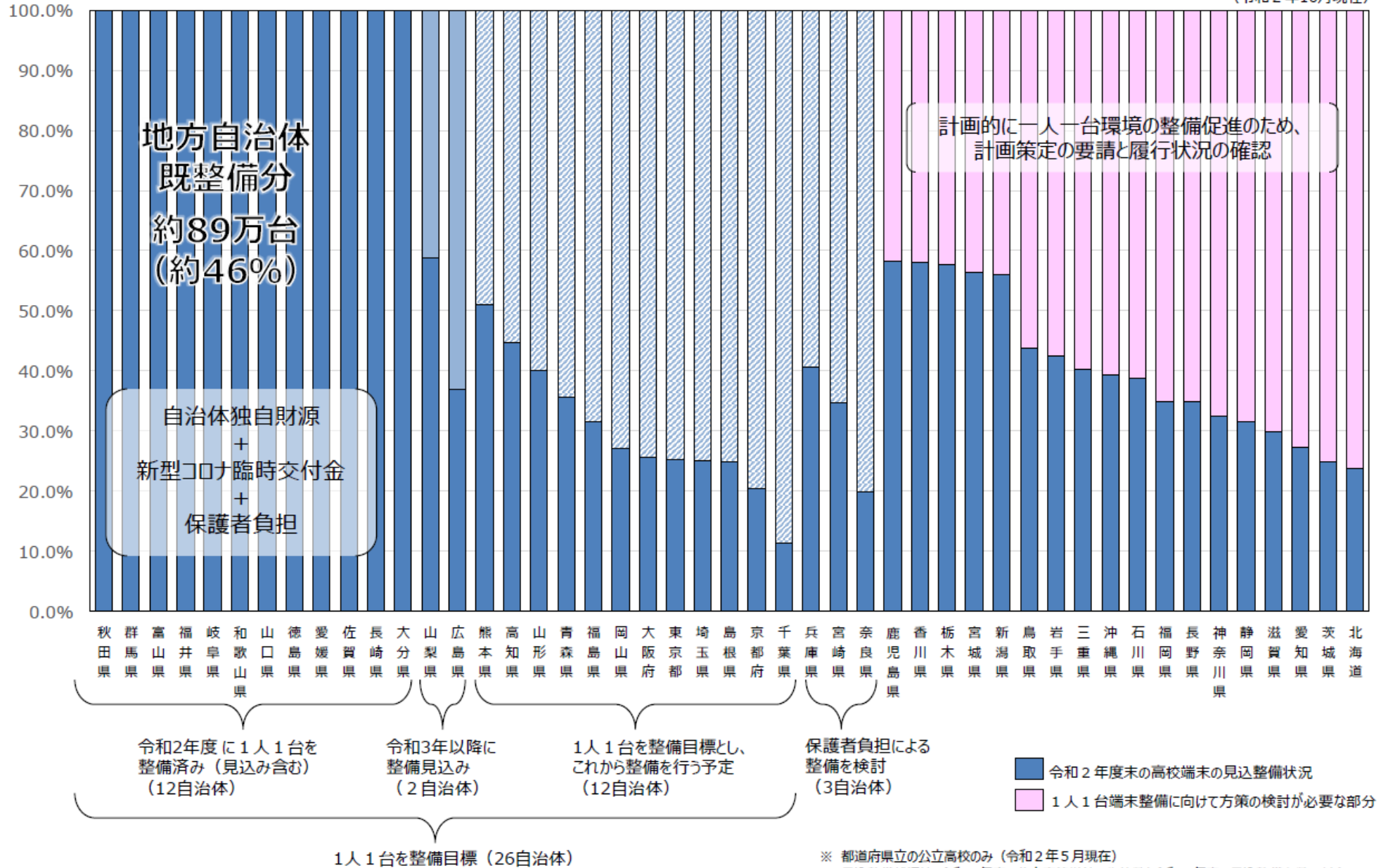
う、LTE通

147億円

21億円

【参考】 公立高校における端末の整備状況について（都道府県別）

（令和2年10月現在）



※ 都道府県立の公立高校のみ（令和2年5月現在）
 ※ 見込整備状況は、令和2年度の公立高等学校の生徒数と令和2年度の見込整備台数の割合
 ※ 令和2年度の見込整備台数（令和元年末の整備台数 + 令和2年度の新規整備予定台数）
 淡青色部分は、令和3年度以降の見込整備

財源の整理

新型コロナウイルス感染症対策
対応地方創生臨時交付金

地方財政措置

自治体内自主財源

- A. 教委が端末仕様を策定、調達し展開
- B. 教委が仕様案化、学校が仕様化、教委調達
- C. 教委が幾つかの仕様を作成、学校が選択

- ・今年度～来年度早期整備の中心
- ・端末仕様は小中GIGAと同様が多い

・予算獲得に向けた活動

家庭負担

教委から学校→家庭の流れで、大まかな端末仕様を提示、小売店などでの購入を案内。

- ・一部県ではBYDOでの整備を既に開始
- ・家庭負担の場合、端末は一切管理せず保証サービスなども付与しない。
- ・学習に利用するIDのみ提供する。

- ・自治体負担で整備する県との不公平感
- ・端末によって家庭所得格差が顕在化する恐れ
- ・トラブル発生時の技術的切り分けが非常に困難

令和2年度第3次補正予算
低所得世帯向け国費支援

Q1

今回の第3次補正予算案において、高等学校の1人1台端末を整備しないのか。

A1

高校生も含め、全ての子どもたちに対するICT環境整備が急務と考えています。一方で、高校における端末整備については、地方自治体が独自の財源を確保して整備を進めている事例や、機器等を指定した上での保護者負担による整備事例、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用している事例など多様な整備実態があることを踏まえ、子供の学びの保障と機会均等の観点から、国としては、低所得世帯の高校生に対する貸与等を目的として設置者が行う端末整備に対して補助を行うこととしています。

Q5

今後、どのようなスケジュールを想定しているのか。また、令和2年度中に整備を完了する必要があるのか。

A5

年明け(令和3年1月)に交付要綱案等をお示しするとともに交付申請希望調査を行う予定としています。

また、令和2年度内に事業を完了して頂くことが前提となりますが、本事業の補助金は繰越明許費として国会の議決を経ているため、何らかの事情により業務が遅延した場合には、繰越しが可能です。

1人1台時代のための専用デバイス



10e **Chromebook**
Tablet



500e **Chromebook**
2nd Gen



300e **Chromebook**
2nd Gen



300e **Windows**
2nd Gen

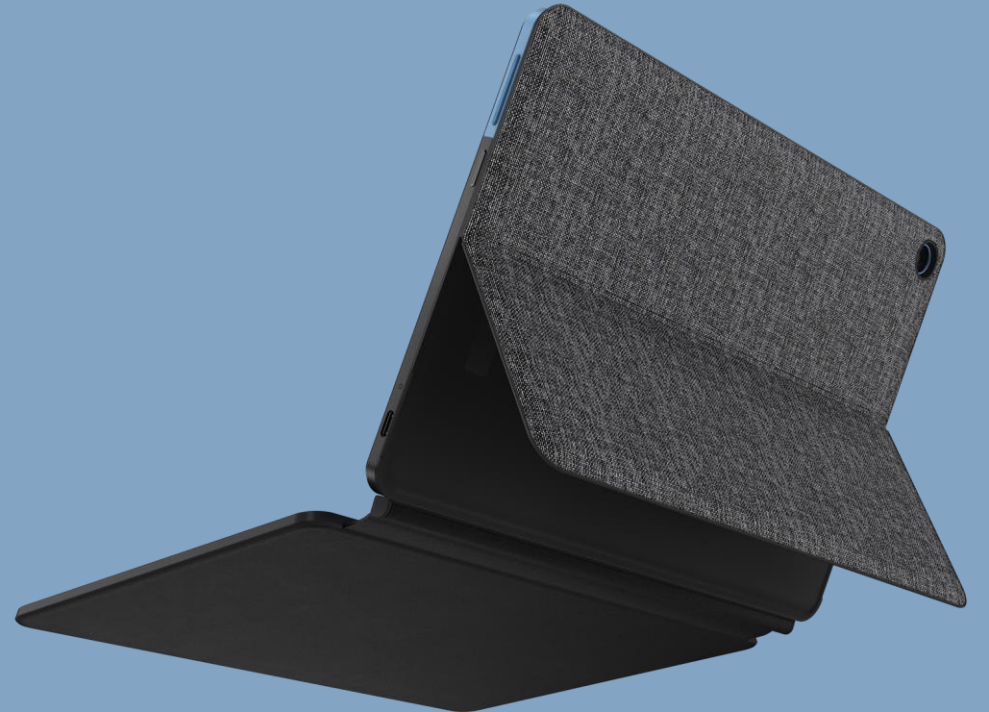
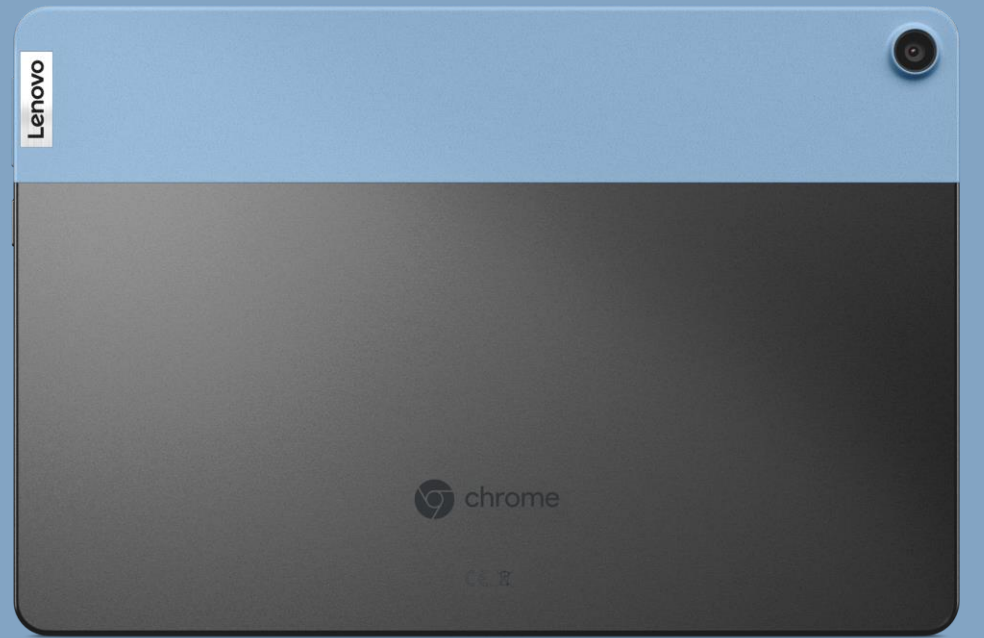
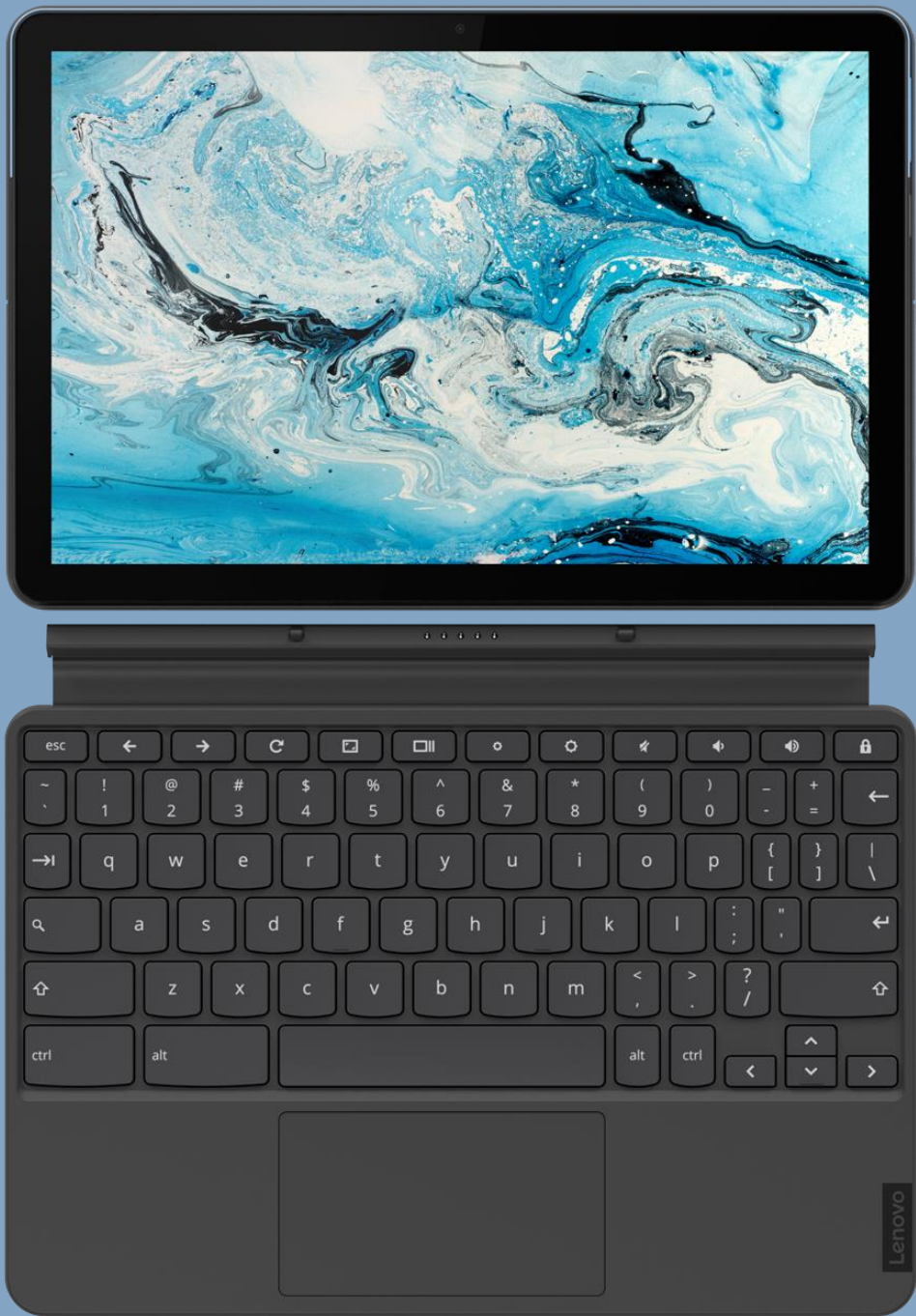


IdeaPad
D330

Lenovo IdeaPad Duet Chromebook



LenovoTM





ThinkPad C13 Yoga Chromebook

Lenovo™



パワフルなパフォーマンス

AMD RyzenとADM Radeonを選択可能

安心のセキュリティ機能

指紋センサーと物理カメラシャッター搭載

優れたインターフェース

実績あるThinkPadキーボード

thanks.

**Smarter
technology
for all students**

Lenovo